

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、先行研究で作成したデータベース（札幌市 ACS ネットワークのデータベース）からデータを抽出、利用することによって行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号）の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、本研究の内容や連絡先をホームページや研究施設内に掲示することにより、対象となる患者さんからの相談を受ける機会や参加を断る機会を確保しております。ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、この研究に関するお問い合わせがある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] COVID-19 流行下における札幌市 ACS ネットワークの診療実態調査

[研究責任者] 永井 利幸 （循環器内科准教授）

[研究の目的] 札幌市の COVID-19 罹患患者数を把握し、COVID-19 流行下における札幌市 ACS ネットワーク救急搬送患者の搬送・診断・治療内容・転帰に関する実態調査により、今後の ACS ネットワーク活動内容の改善とさらなる治療成績の向上を図る。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

循環器救急疾患として、2013 年 4 月 1 日以降に札幌市内下記医療機関へ救急車で搬送された方。

参加施設：ACS 参画病院（札幌市内 28 施設）

国立病院機構北海道医療センター、市立札幌病院、札幌厚生病院、時計台記念病院、札幌中央病院、NTT 東日本札幌病院、KKR 札幌医療センター、JCHO 北海道病院、北海道循環器病院、小笠原クリニック札幌病院、愛心メモリアル病院、勤医協中央病院、札幌心臓血管クリニック、札幌東徳洲会病院、北光記念病院、北海道大野記念病院、手稲溪仁会病院、北成病院、新札幌循環器病院、天使病院、JCHO 札幌北辰病院、JR 札幌病院、札幌循環器病院、札幌禎心会病院、華岡青洲記念心臓血管クリニック、斗南病院、札幌医科大学附属病院、北海道大学病院

●利用する救急搬送情報

年齢、性、発症日時、救急隊覚知時刻、現場到着時刻、現場出発時刻、病院到着時刻、主訴、発症状況・発症場所、接触時状態（意識、呼吸、脈拍、血圧、目撃の有無）、心肺停止の有無、バイスタンダーによる心肺蘇生状況、自動体外式除細動器使用状況、救急隊処置情報（心電図モニター実施の有無・所見、心電図伝送実施・確認の有無、心肺蘇生の有無・開始時刻、気道確保の有無・方法・開始時刻、除細動の有無・時刻・結果、静脈確保とアドレナリン投与の有無）

●利用するカルテ情報

患者基本情報：主病名、副病名、入院の有無、収容時バイタルサイン（身長、体重、意識、呼吸、酸素分圧、脈拍、血圧、体温、心筋梗塞重症度分類）、血液検査

急性期治療内容：緊急冠動脈造影の有無・開始時刻、穿刺部位、冠動脈病変枝数と責任病変、緊急冠動脈インターベンションの有無・治療開始時刻・再疎通時刻、最終冠動脈血流、緊急手術の有無、補助循環の有無・種類、人工呼吸の有無、血液浄化の有無・種類、ペーシングの有無、投与薬剤

転帰情報：退院日あるいは院内死亡日（死亡場所、死因）

●利用の範囲

これらの情報は札幌市 ACS ネットワーク事務局で個人が特定されない状態で管理され、各参加施設で利用されます（管理責任者：札幌市 ACS ネットワーク学術委員長 永井利幸）。

[研究実施期間]

実施許可日～2028年3月31日（登録締切日：2031年3月31日）

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

尚、参加拒否以前に収集した研究対象者の情報等のうち、すでに匿名化され、データセンターに送付されたものは引き続き使用させていただきますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

〒060-8648 札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 循環器内科 担当医師 永井利幸

電話 011-716-1161（代表）